

2019 BUSINESS REPORT

アイエーグループ株式会社

<証券コード 7509>



第36期 中間報告書

2018.4.1 ~ 2018.9.30



アイエグループは、「グッドカンパニー」を目指します。

当社は1984年に創業をしました。

1996年9月には現ジャスダック市場に株式を公開しております。

2008年10月には純粋持株会社体制への移行に伴い、商号を株式会社アイエからアイエグループ株式会社に変更いたしました。

当社グループの創業の「志」は、グッドカンパニーを創ることにあります。

当社グループが目指すグッドカンパニーとは、お客様および社会にとって存在価値の高い会社であり、社員にとってやり甲斐と自分自身の大きな成長が見込める会社であります。

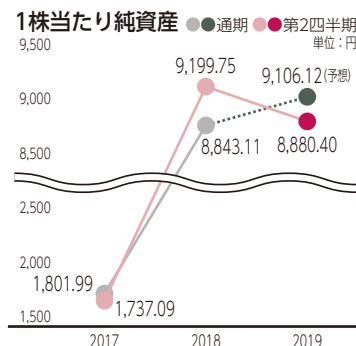
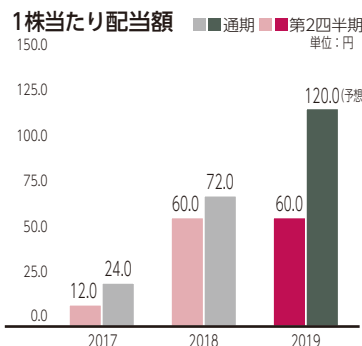
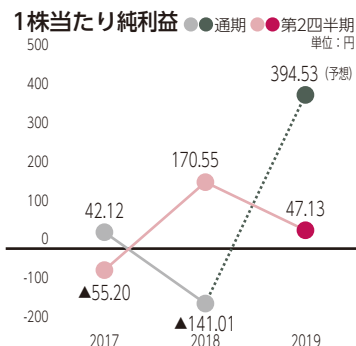
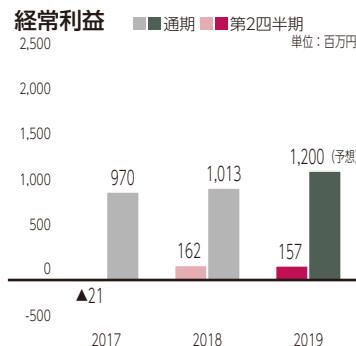
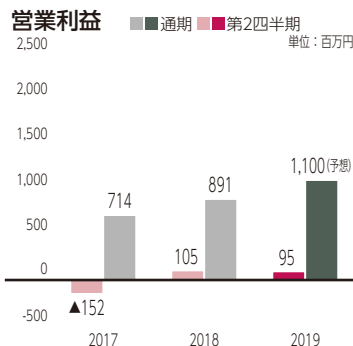
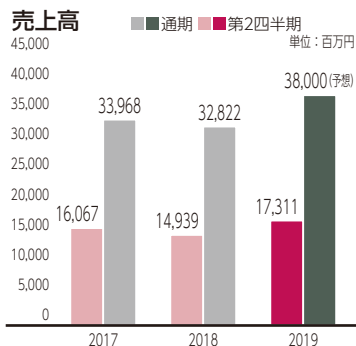
社員各人はさまざまな知恵や新たな発想、そしてチャレンジ精神を持って当社グループに参加することにより、まさに「自己拡大の場」「自己実現の場」としていただきたいと考えます。

会社のために“人”が在るのではなく、“夢を持った人”のために会社が在る、というように努めたいと思います。

私達は常に、明るく・元気に・楽しく、を合言葉に「志」の達成に向け会社一丸となって努力してまいります。

企業理念

1. 社員の成長と発展を願い、仕事環境の創出をいたします。
2. 社会との関わりを大切にし、豊かな社会作りに貢献いたします。
3. 時流変化を正しく認識し、絶えざる革新を行う企業経営に邁進いたします。



(注) 1. 1株当たり純利益は期中平均発行済株式総数に基づき、1株当たり純資産は発行済株式総数に基づき算出しております。なお、それぞれ自己株式数を控除した株式数によって算出しております。

2. 当社は、2017年10月1日付で、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純利益を算出しております。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

当社は、2018年9月30日をもちまして、第36期の第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日まで)を終了いたしましたので、ここにご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方、個人消費につきましては雇用・所得環境に改善が見られるものの、依然として消費者の節約志向は根強く、また相次ぐ自然災害の影響もあり、その先行きは不透明な状況であります。

そのような中、当社グループにおいては基幹事業であるカー用品事業が増収増益、ブライダル事業は減収増益となり、建設不動産事業は増収減益となりました。

カー用品事業につきましては、商品販売においてドライブレコーダーの需要等が堅調に推移し、ピットサービス部門と車両販売においても順調に推移いたしました。また2018年3月1日より営業を開始した宮城県と秋田県の15店舗も業績に寄与したことにより、前年同期と比べ増収増益となりました。

ブライダル事業につきましては、高付加価値商品の開発提案に努めた結果、施行単価の向上が図られましたが、施行組数の減少を補いきれず減収となりました。利益面につい



代表取締役社長
古川 教行

ては前期に比べ販売費及び一般管理費が低下したことにより、前年同期と比べ増益となりました。

建設不動産事業につきましては、高収益物件の戦略的な売却と、収益性を重視した優良賃貸物件の賃貸稼働率の向上ならびに大型工事事件の引渡等をいたしました。前期に高収益物件の売却を行ったことにより、前年同期と比べ増収減益となりました。

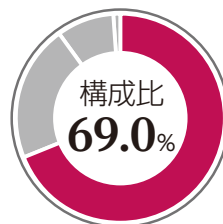
その他の事業につきましては、コメダ珈琲4店舗が売上に寄与しましたが、不動産取得に伴う費用の計上等により、前年同期と比べ増収減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,311百万円(前年同期比15.9%増)となり、営業利益につきましては95百万円(前年同期比9.0%減)、経常利益につきましては157百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

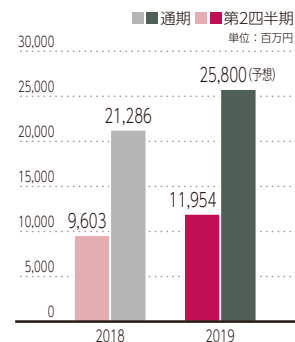
これにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、67百万円(前年同期比74.3%減)となりました。

セグメント情報

カー用品事業



売上高
11,954百万円



事業戦略

- ・社員教育の強化 (国家整備士取得推進、体系的な階層別・職種別研修の実施)
- ・ピットサービス部門の強化 (運輸局指定工場認可の推進)
- ・事業領域の拡大 (タイヤ預かり事業、車両販売事業の推進)

トピックス

(株)アイエーオートバックス 運営開始(2018年3月1日～)
オートバックス13店舗・スーパーオートバックス2店舗

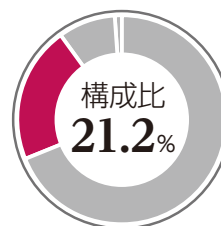


オートバックス仙台吉成店

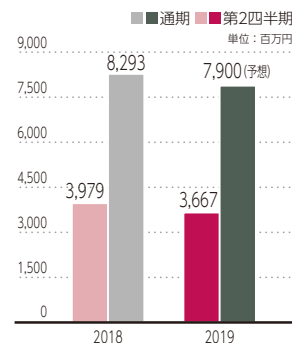


スーパーオートバックス仙台ルート45店

ブライダル事業



売上高
3,667百万円



事業戦略

- ・顧客満足の更なる向上（質の向上プロジェクトの推進、社員教育の強化）
- ・施設の鮮度管理（継続的リニューアルの実施）
- ・ブランディング戦略（新規式場の知名度の向上）
- ・エリア本部制として迅速な経営判断と責任の明確化（関東、中部、関西の3エリア制）

トピックス

既存式場のリニューアル



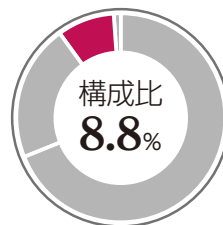
アルカンシエルベリテ大阪



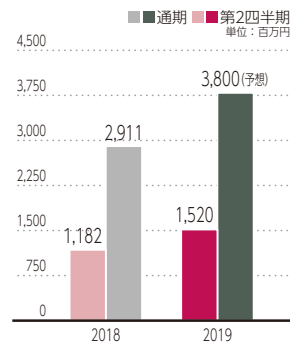
アルカンシエルリュクスマリアージュ名古屋

セグメント情報

建設不動産事業



売上高
1,520百万円



事業戦略

- ・所有物件の安定利回り維持による収益の確保
- ・グループ資金を利用した高収益物件の適時購入確保
- ・グループ資産の管理・運営および建築・管理営繕プロデュース

トピックス



3階建てコンテナハウス

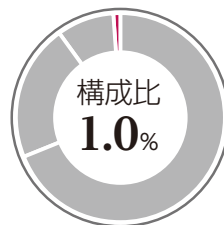


設計のプロデュース

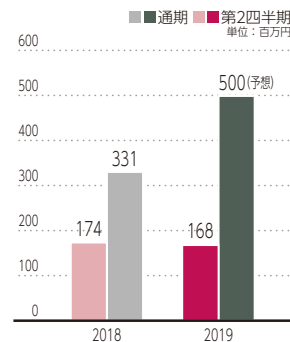
その他事業



総務・経理代行業務 コメダ珈琲の経営

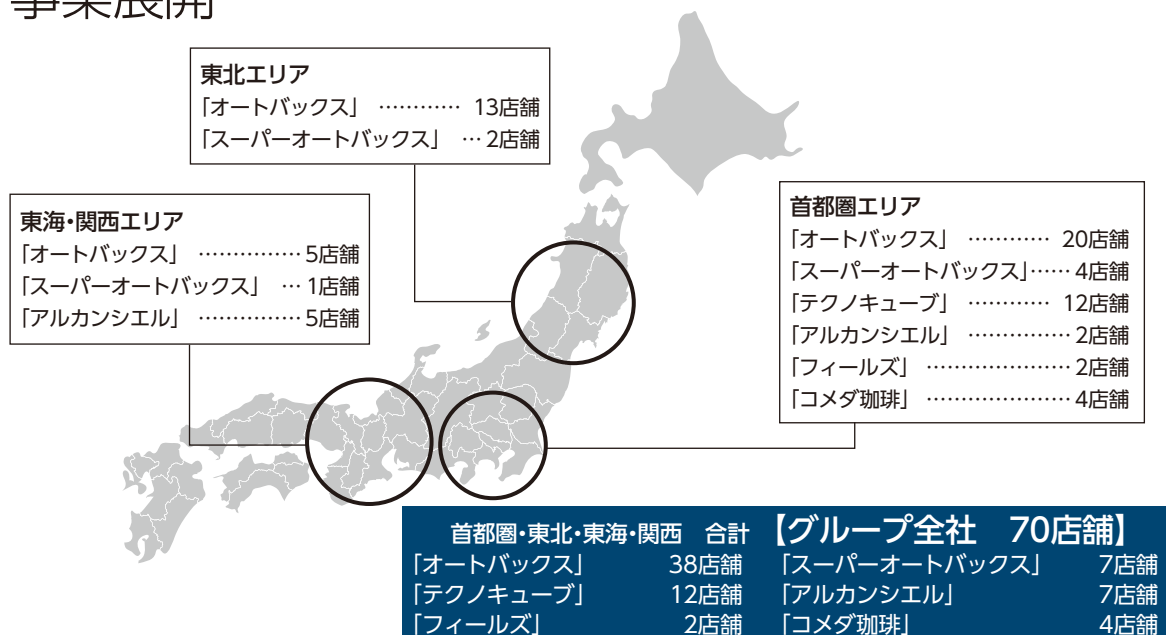


売上高
168百万円



コメダ珈琲店 お客様にコミュニティーの場を提供

事業展開



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:千円)

資産の部		
科目	当第2四半期末 (2018年9月30日現在)	前期末 (2018年3月31日現在)
流動資産	12,682,842	12,206,400
現金及び預金	1,742,305	1,674,806
売掛金	1,245,698	1,382,322
たな卸資産	8,804,167	8,243,652
その他	890,671	905,619
固定資産	20,879,849	19,745,917
有形固定資産	13,857,773	12,809,441
建物及び構築物	7,545,159	7,327,789
土地	5,816,383	4,969,703
リース資産	112,638	146,502
建設仮勘定	8,071	8,071
その他	375,519	357,374
無形固定資産	168,456	230,087
電話加入権	9,258	9,258
のれん	49,866	92,637
その他	109,332	128,191
投資その他の資産	6,853,618	6,706,389
投資有価証券	249,691	140,195
長期貸付金	22,270	22,870
長期前払費用	211,723	244,130
差入保証金	4,743,909	4,788,244
繰延税金資産	1,503,879	1,391,867
その他	144,414	141,950
貸倒引当金	△22,270	△22,870
資産合計	33,562,692	31,952,318

負債の部		
科目	当第2四半期末 (2018年9月30日現在)	前期末 (2018年3月31日現在)
流動負債	12,828,170	10,741,049
買掛金	1,706,199	1,639,029
短期借入金	7,775,719	5,266,544
リース債務	81,910	93,427
未払法人税等	108,692	557,287
未払消費税等	242,442	112,414
未成工事受入金	179,940	381,123
賞与引当金	406,591	397,902
役員賞与引当金	—	27,400
ポイント引当金	120,686	148,907
その他	2,205,988	2,117,013
固定負債	7,340,021	7,732,620
長期借入金	3,815,997	4,166,557
リース債務	124,732	162,173
長期預り保証金	1,047,862	1,095,581
退職給付に係る負債	447,714	437,764
役員退職慰労引当金	375,000	350,000
資産除去債務	1,299,928	1,289,762
繰延税金負債	218,378	218,378
その他	10,407	12,401
負債合計	20,168,192	18,473,669
純資産の部		
株主資本	13,318,561	13,405,079
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	10,660,937	10,685,072
自己株式	△481,266	△418,884
その他の包括利益累計額	41,837	43,597
その他有価証券評価差額金	41,837	43,826
繰延ヘッジ損益	—	△229
非支配株主持分	34,099	29,972
純資産合計	13,394,499	13,478,648
負債・純資産合計	33,562,692	31,952,318

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)
	自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日	自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日
売上高	17,311,694	14,939,929
売上原価	9,690,488	8,225,796
売上総利益	7,621,205	6,714,132
販売費及び一般管理費	7,525,325	6,608,750
営業利益	95,879	105,382
営業外収益	103,259	87,060
営業外費用	41,713	30,417
経常利益	157,426	162,025
特別利益	—	418,396
特別損失	1,616	2,907
税金等調整前四半期純利益	155,809	577,513
法人税、住民税及び事業税	84,569	316,281
四半期純利益	71,240	261,232
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,127	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	67,112	261,232

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

会社概況

会社概要 (2018年9月30日現在)

■ 商号	アイエーグループ株式会社
■ 設立	1984年3月21日
■ 資本金	13億1,410万円
■ 商号変更	2008年10月1日
■ 代表者	代表取締役社長 古川 教行
■ 本社	神奈川県横浜市戸塚区品濃町545番地5
■ 事業内容	社内外に対してグループの方向性を明示するとともに、各種の専門サービスをもってグループ各社の事業運営を支援すること。
■ ホームページ	http://www.ia-group.co.jp/
■ 社員数	1,074名(グループ全社)
■ 株式上場取引所	東京証券取引所(銘柄コード7509)
■ 取引銀行	横浜銀行 東戸塚駅前支店 三菱UFJ銀行 戸塚駅前支店 三井住友銀行 横浜駅前支店 みずほ銀行 横浜駅前支店 三菱UFJ信託銀行 本店 大垣共立銀行 岐阜支店

主要関係会社 (2018年9月30日現在)

- **株式会社アイエー** <http://www.i-a.co.jp/>
 - ・株式会社アイエーオートボックス
 - カー用品事業
 - 日本最大のカー用品総合専門店チェーン「オートボックス」「スーパーオートボックス」および車検専門店「テクノキューブ」のフランチャイジー店舗の経営
 - ・株式会社アイエーマネージメントサービス
 - 提携企業の店舗指導・支援およびコンサルティング事業
- **株式会社アルカンシエル** <https://www.arcenciel-g.jp/>
 - ブライダル事業
 - ハウスウエディングスタイルの結婚式の経営
 - ・株式会社アルカンシエルプロデュース
 - ブライダル事業に関わるコンサルティング事業
- **株式会社アイディーエム** <http://www.idm-net.jp/>
 - 不動産販売管理事業
 - 総合不動産事業、「フィールズ」店舗による不動産賃貸仲介サービス業務、ならびに建設事業
 - ・株式会社アイディーエムパートナーズ
 - 不動産管理業務
 - ・株式会社IDMobile
 - コンテナユニットの設計および企画製造販売業務
- **株式会社IAGアセット** <http://www.iag-asset.jp/>
 - 保有不動産管理事業
 - グループ資産の管理・運営
 - ・株式会社IAGコンストラクション
 - 不動産開発・管理・建設事業
 - ・株式会社エフ・エム・クラフト
 - 保有不動産管理業務

役員 (2018年9月30日現在)

代表取締役社長	古川 教行
取締役副社長	田畑 憲士
専務取締役	小野 敦
常務取締役	岡野 良信
取締役	足立 浩二
取締役	藤井 敏光
取締役	佐野 尚見
常勤監査役	野村 光夫
監査役	今成 達之
監査役	齊藤 浩司

- (注) 1. 取締役佐野尚見氏は、社外取締役であります。
 2. 監査役今成達之氏および監査役齊藤浩司氏は、社外監査役であります。
 3. 当社は、監査役今成達之氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株式の状況 (2018年9月30日現在)

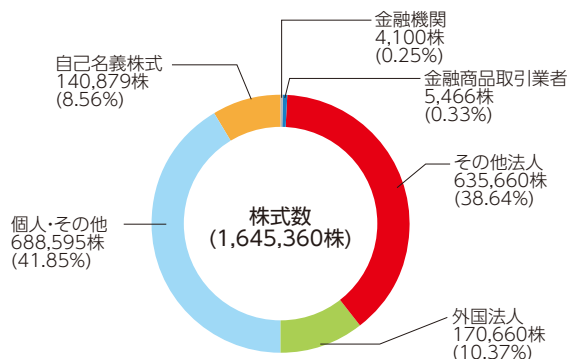
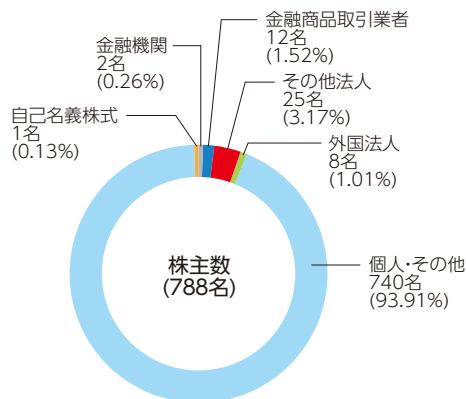
発行可能株式総数	5,348,800株
発行済株式の総数	1,645,360株
株主数	788名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社草創	580	38.57
ピーイーチ フォー フィデリティ ロー プライス ストック ファンド	117	7.81
古川教行	48	3.22
古川恵子	48	3.21
小黒良太郎	46	3.11
田畑憲士	38	2.52
株式会社オートボックスセブン	36	2.39
内藤征吾	33	2.22
小黒美樹子	30	2.03
金野茂樹	24	1.63

(注) 持株比率は自己株式(140,879株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載 URL http://www.ia-group.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

○特別口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問 合 せ 先	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(※)	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 連絡先:東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先:〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	[手続き書類のご請求方法] ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/

(※)特別口座に登録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

○証券会社等の口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問 合 せ 先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 連絡先:東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先:〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

